

池田高校 SSH 卒業生アンケート
高校 31 期生 Oさん

(聞き手 数学科 栗屋)

1 まず、あなたは今どのようなお仕事(生活)をされていますか。仕事の場合は、よろしければお立場もお教えてください。

国公立大学水産学部生。水産の講義では、それぞれの研究室についての話を聞くことができ、2年生後半から配属される研究室が楽しみで仕方がない。

2 高校時代とはどういう研究をされましたか。

日本各地にある古文書の中から大場美佐の日記と稲東家日記を選び、それらの日記の中から1年のうちに3カ月以上の空白のあるデータはすべて削除していき、より詳しいデータをまとめた上で、その日記がどれだけ詳しいかを調べたりして、江戸時代の天候を復元する研究をしていた。

3 研究活動の上で、最も印象深かったことは何ですか。

自分の入力したデータをグラフ化した時に新たな傾向を発見したこと。新たな傾向とは、江戸時代には气象台がなく、今まで気にもしていなかったが、実は地球温暖化が江戸時代から始まっていたのではないかということが分かり、最も印象に残っている。

4 そこで学んだことはどういうことだと考えますか。

根気強く研究を進めていくことの重要性です。根気強く研究を進めていくことによって、自分たちの研究に自信を持つことができ、プレゼンテーションでも堂々と発表することができました。自信を持って話をするには、人に伝えるにあたって大事なことだと思っています。

5 SSH の学びにより、科学的な感性や好奇心、思考力は伸びたと思われますか。

とても伸びたと思う。特に思考力が伸びたと感じている。エクセルを使ってデータを入力しグラフを作って、そこから何が読み取れるかを考えたことや、プレゼン発表をした際、大学の教授が質問をしてくださるのだが、まったく自分たちでは気づかなかったところを質問されたりして、新しい気づきをくださる質問が多かったのも、そこでまた考えることが始まりの繰り返しだったので、特に思考力が伸びたと感じている。

6 プレゼンテーションやわかりやすく話す力や表現力は付いたと思いますか。

かなり付いたと現在実感している。大学のパソコンの講義や英語の講義などいくつかの講義の中でプレゼン発表をする機会が数回あったのですが、教授や友達から「何故そんなに発表が上手いのか」、「どこで何を学んでいたのか」など質問されることが多々あり、池田学園で培った力のおかげだと感じている日々を過ごさせてもらっている。

7 高校時代が普通の教科学習だけで終わったとしたら、どう違ったと思いますか。

今の私の相手に話を伝える力や表現力は、池田学園のSSHを通して、これらを鍛える機会をたくさん与えていただき、高められたものだと思っているので、現在の話す力やプレゼンテーション能力はなかったと思う。また科学に関する興味・関心も持てていなかったと思う。

8 SSHの学びは、あなたの理系選択に影響しましたか。また、研究したことで学習意欲は高くなったと思いますか。

研究とは実験というイメージであったが、実際はフィールドワークに行ったり、データ入力があったり、他校の研究発表を聞いたりすると、このような研究の仕方もあるんだと、より広い視野を得られることができ、好奇心が湧き研究意欲や学習意欲が高くなったと思っている。

9 現在どのような生活を送っていますか。研究(仕事)はどんな様子ですか。

今の自分に役立っているところはどんなところと考えますか。

まだ大学1年生なので研究自体は始まっていない。6の項目でもお答えしたように、大学の講義でプレゼンテーションをする機会が多々あるが、その発表の際に、SSHで学んだこと・経験してきたことが他の生徒と比較すると高く評価していただけているので、プレゼンテーション能力の面で十分に役立っていると思う。

10 今後の池田高校のSSHについてどう考えますか。

期待することなどを教えてほしい。

今後も多くの研究や発表を経て、大学生活や社会の役に立つ人の排出を期待している。